

脚立からの転落、 作業は「作業台」「作業用タワー」で。



2014年12月1日
片山安心コンサルタント

福波デスク Tel 0763-58-5258
 福野 Fax 0763-22-2287
 メール shousa@ansin39.com

1

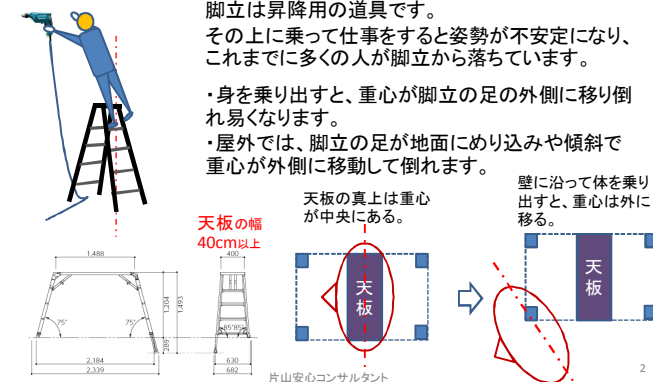
脚立で作業、危険の認識

“ 起りそうな危険を想像できますか？ ”

脚立は昇降用の道具です。その上に乗って仕事をすると姿勢が不安定になり、これまでに多くの人が脚立から落ちています。

- ・身を乗り出すと、重心が脚立の足の外側に移り倒れ易くなります。
- ・屋外では、脚立の足が地面にめり込みや傾斜で重心が外側に移動して倒れます。

壁に沿って体を乗り出すと、重心は外に移る。

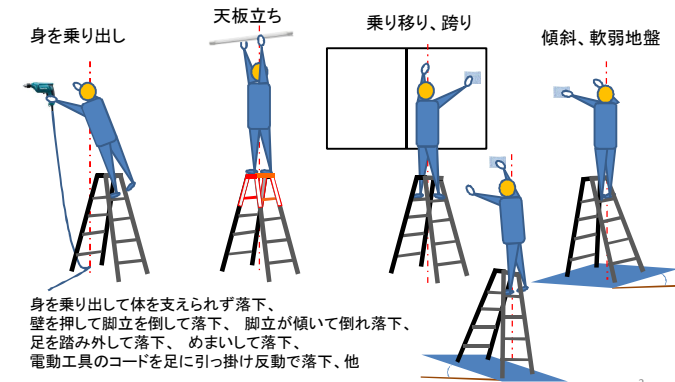


片山安心コンサルタント

2

脚立で作業、危険の認識

“ 危険の想像 押し倒し、踏み外し、落下 ”



身を乗り出し
壁を押して脚立を倒して落下、脚立が傾いて倒れ落下、足を踏み外して落下、めまいして落下、電動工具のコードを足に引っ掛け反動で落下、他

天板立ち
押し倒し、踏み外し、落下

乗り移り、跨り

傾斜、軟弱地盤

片山安心コンサルタント

3

周囲の状況(足元)や体力も

トイレトーパーを取ろうと・・・温泉従業員、脚立から転落し死亡

2014.3.30 産経ニュースから

3月29日 午前10時50分ごろ、奈良県の温泉施設のボイラー室で頭から血を流して死んでいる70才の男性が発見された。病院に搬送され死亡が確認された。

その男性は、棚上のトイレトーパーを取ろうとして、高さ1.1mの脚立から転落したものとみられている。



転落時の状況を想像してみる。

トイレトーパーを持って、

- ① 後ろへのけぞり倒れた
- ② バランスを崩し足を踏み外した
- ③ 後ろ向きに降りようとして踏み外した (バランス感覚は、年齢と共に低下する)

脚立を置きたい場所に、棚や機械・配管がある、傾斜などの悪条件が多い。



箱の重さ
122g × 36個 = 4.4kg
122g × 48個 = 5.8kg

片山安心コンサルタント

4

転落時の状況を想像してみる

「トイレトペーパーの箱を持って」と仮定して、

- ①頭上に箱を掲げ、後ろへのけぞり倒れた
- ②箱を持ち上げた時、バランスを崩して足を踏み外した
- ③後ろ向きに降りようとして踏み外した

片山安心コンサルタント 5

転落を防止するためには

危険源:床から1.1mの高さ

- ①箱の(棚の)高さを低くして脚立を使わない
危険源は無くなった
- ②踏み台を使い、箱を台に置いて手ぶらで降りる
危険源は有る

踏み台と脚立は足の接地面積が違い、
・踏み台はべたに付くが、
・脚立は部分的になる為、足元でバランスを取りながら作業しているのが不安定になります。
脚立から転落するのはこのためです。

手に箱を持つと足元が見えなくなります。段差を確認するには手ぶらが1番良いです。

片山安心コンサルタント 6

講師紹介

片山安心コンサルタント
代表 片山 昌作

砺波デマク 砺波市杉木4-73 0763-58-5258
昭和54年卒業

富山県立砺波工業高等学校電気科
トヤマキカイ(現コマツNTC)へS54年入社
工作機械の配線、運転調整、サービス、
電装や制御設計を26年間行ない、近年は品質保証5年、内部統制7年行う。
現在、労働安全コンサルタントとして企業、商店や農協団体の安全指導を行う。

特級電気機器組立て技能士、特級機械保全技能士、職業訓練指導員
受賞歴:シーケンス制御 1級1位 (平成15年) 機械・電気・メカトロニクス科

片山安心コンサルタント 7